

はじめに



本市は、川越藩の繁栄を引き継ぎ、発展してまいりました。大正 11 年には県内で初めて市制を施行し、2022 年に 100 周年を迎えようとしております。

この過程において、川越城址には多くの公共施設等が建設され、本丸に位置する初雁公園は、昭和 26 年に市の都市計画第 1 号公園として誕生し、野球場、プールなど三世代にわたり、多くの市民に親しまれてまいりました。

一方で、往時の姿を偲ぶのは、初雁公園内の本丸御殿及び土塁の一部や三芳野神社、富士見櫓跡、中ノ門堀跡など僅かに残すのみとなっております。

本市としては、この貴重な財産を守り、将来に受け継ぐため、平成元年に初雁公園の将来像として、城址公園としての夢を描き、このたび、城址公園の実現に向けた「川越市初雁公園基本計画」の策定をいたしました。

基本計画においては、埼玉県指定史跡である史跡川越城跡の約 33ha を「市民の誇り」、「歴史と観光の拠点」と位置づけ、その中心が初雁公園としたうえで、公園のテーマを『歴史が人を結ぶ公園』としました。文化財的価値を守りながら、歴史を学び、体感する場とするとともに、城下町である中心市街地との回遊性を高め、人の流れをつくるにぎわいの場としても活かしてまいります。また、市街地にあって貴重な緑のオープンスペースであることから、市民の憩いの場とするとともに防災にも寄与する公園としてまいります。

さらに、近年、公園は多く市民に利活用されるよう、質の向上や維持管理運営面が課題となっております。基本計画においては、利活用を見据えた計画とするとともに、多くの市民の参加や民間ノウハウの活用などで、公園を効果的に運営し、経営（マネジメント）していくしくみや体制についても示しております。

「川越市初雁公園基本計画」は川越城・川越藩の中世から江戸までの約 415 年、城下町を基盤に川越が発展した現在までの約 150 年を振り返り、あらたな未来に向けてそのスタートをきるものであります。また、川越のアイデンティティを過去・現在・未来の積み重ねで築きあげたいと願っております。

最後になりますが、本計画策定にあたり貴重なご意見をいただきとりまとめたいただきました「川越市初雁公園基本計画審議会」の委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成 31 年 3 月

川越市長 川合善明